

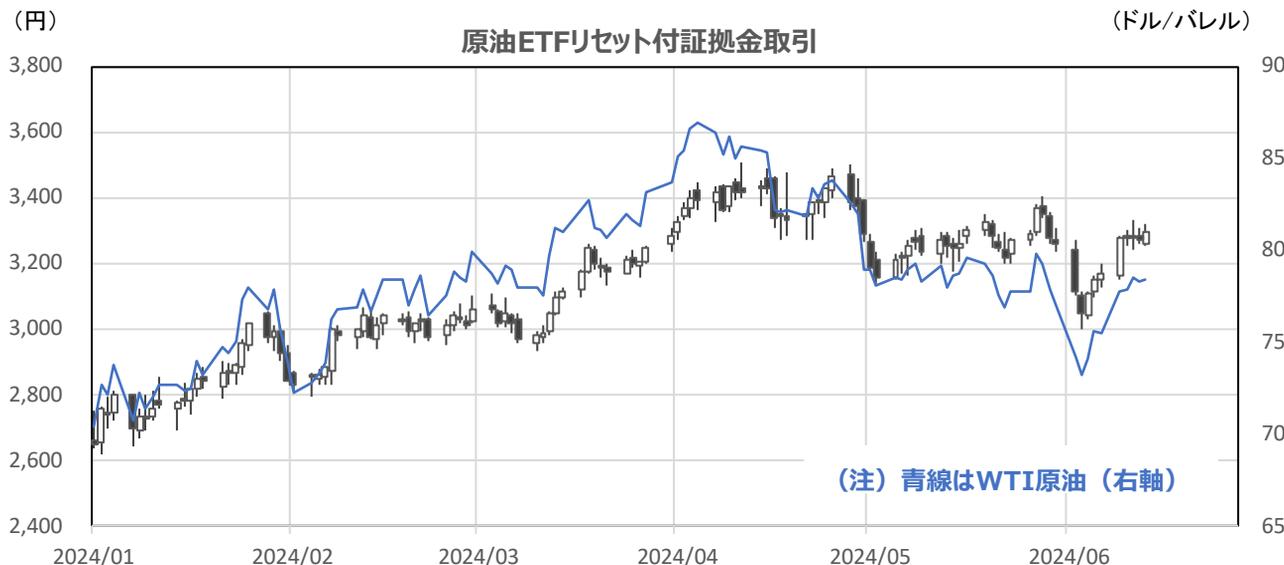
原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2024/06/17号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

需給引き締め観測で80ドルに迫る

NY原油先物相場は、1バレル=77~79ドル水準まで値位置を切り上げる展開になった。6月2日の石油輸出国機構（OPEC）プラス会合で減産縮小計画が示されたことで、4日には72.48ドルまで下落していた。しかし、その後は改めて需給引き締め見通しを織り込む動きが優勢になり、12日高値は79.32ドルに達している。80ドル台回復には至らなかったが、OPECプラス会合前の値位置を回復した。

7~9月期の需給が引き締まるとの見通しが、改めて原油相場を押し上げている。OPECプラスは段階的に減産規模を縮小する方針を発表したが、7~9月期には減産規模の変更は行われない。一方、夏季休暇シーズンが近づく中、旅行や観光などの輸送用エネルギー需要は拡大しやすい時期を迎えている。ガソリンやジェット燃料などの需要拡大期待が強く、需給の引き締めから在庫減少が進むとの見方が強い。足元では実際の在庫減少が確認されていないが、少なくとも今後数カ月の需給は引き締まるとの見方が、原油相場を支援した。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（6月7日時点）は、原油が前週373万バレル増、ガソリンが257万バレル増、石油精製品が88万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

需給引き締め観測で下値固まる、在庫統計に注目

70～75ドルのレンジは下げ過ぎとの評価が確立し、下値は固まっている。今後、OPECプラスが計画通りに減産規模の縮小を進めることが可能かは不透明感も強いが、少なくとも7～9月期の需給については適度の引き締めが想定できる環境にある。実際に需給が引き締まるのかは今後の需要動向にも依存するため、一気に上値を大きく切り上げるまでのエネルギーは想定しづらいが、75～80ドル水準での値固めを進める展開になろう。原油在庫の取り崩しなどが確認できると、80ドル台へのレンジ切り上げを打診する可能性も想定したい。

OPECプラスの減産縮小計画を受けての値下がりについては、下げ過ぎとの評価が確立したとみて良いだろう。OPECプラスは今後も需給・価格動向をみながら柔軟に政策調整を続ける見通しであり、直ちに大幅な供給過剰状態に陥る見通しにはない。2025年も需給バランスを維持できるのかは懐疑的な見方も強いが、少なくとも夏の需要期については需給引き締まりの見通しを織り込むことが可能だろう。足元の在庫にはタイト感が認められないため、押し目買い優勢の地合ながらも、80ドル台では上値を抑えられる可能性が高い。

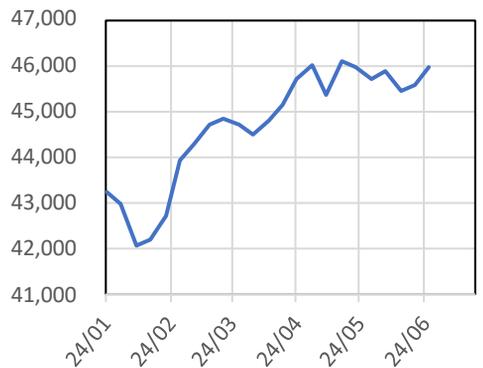
下落リスクとしては、米中経済の減速懸念が高まっていることに注意が必要。6月17日に中国の5月経済指標の発表が集中することに加えて、18日には5月米小売売上高も発表される。これらの指標が景気減速懸念を更に高めると、軟調な非鉄金属相場と同様に上値の重い展開に移行する可能性がある。フランスの政治環境が不安定化していることで、欧州金融市場が不安定化し始めていることにも注目したい。需給面での新規売買材料を想定しづらいため、ドルの値動きも重要。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

